

# idea

NPO・行政・企業・地域の情報発信により、アイデアと出会いの機会を創ります。

ニュースレター アイデア

2013

# 10月号

つながり×ひろがる

いちのせき市民活動センター



## ～ も く じ ～

- 2 | いちのせき市民活動センター活動紹介
- 3 | 団体紹介～愛宕花相撲保存会 ～(千厩)
- 4 | 地域紹介～川崎町 所萱自治会 ～(川崎)
- 5 | 企業紹介～東山フェルト株式会社東山工場～(東山)
- 6 | 歩が行く～NPO 法人響生「えのぐdeアート」～(千厩)

# いちのせき市民活動センター

## 活動紹介



- ①市民活動相談支援
- ②情報発信・収集、啓発支援
- ③地域への参画支援
- ④話し合い支援
- ⑤他事業との連携
- ⑥地域協働体への組織づくり支援

いちのせき市民活動センターが、  
行っている活動の御紹介をいたします。

### 事業紹介 市民フェスタ



会場の様子

#### 市民フェスタを終えて

今年で8回目を迎える「いちのせき市民フェスタ」は、8月25日なのはなプラザ1階〜3階で開催。「なのはなプラザだよ！全員集合」をコンセプトに、市内を中心に広く参加を呼びかけました。

2階の「いちのせき市民活動ゾーン」では、市内で活動する28団体が、活動成果の展示や発表、作品の販売や体験に関するブースを用意。ステージでは、大正琴や語り部、マジックショー等が披露され、会場を盛り上げました。

3階の「全国各地域事例トレーニングパーク」では、青森・岩手・山形・福島・宮城から、地域づくりの先進事例を紹介しに10の団体が参加したほか、スペシャルゲストとして青森県黒石焼きそば応援団ブラ

ストの「つゆヤキソバン」、福島県矢吹町の「やぶぎくん」が参加。足を運んでくれた方は子どもから高齢者と幅広く、小さな子どもも食べ物や遊びを楽しんでくれました。今年初めてのなのはなプラザでの開催ということで心配もありましたが、事故なく無事に終了することができました。参加者からは、「来年もやってほしい」「もっと規模を拡大してほしい」という感想が寄せられた一方、集客が足りなかった、音響の調節が難しかった等の課題も出されました。

市民フェスタ開催にご協力いただいた皆様、足を運んでくださった皆様へ厚く御礼を申し上げます。来年はより一層、多くの方に楽しんでもらえるようなフェスタを開催できよう努めたいと思います。



記念撮影

### 話し合い支援 大原地区まちづくりワークショップ



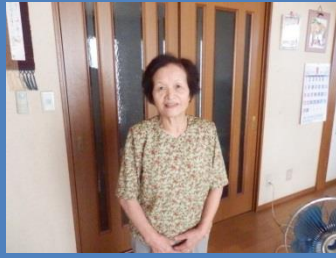
意見が書かれた模造紙

8月21日、大原公民館にて「大原地区まちづくり懇談会」が開催されました。参加した自治会長・区長さん方を対象に、「大原地区のまちづくりの進め方」をテーマにワークショップ。当センタースタッフが、各班のファシリテーターを担当し、①大原地区の現状把握、②将来の大原地区の姿を描く、③そのためにどうしたいか、④実現に向けた進め方について意見交換。

結果、「情報共有の場づくりが必要」「理想を現実にする方法がわからない」等の他「俺が市長になる」という力強い意見も。最後に行った全体共有では、各班で出た意見から今の大原地区をさらに細かく分析。大原地区の良い所と課題が明確化され、何を指すのかが見えてきました。今後は若い方も話し合いに混ざりながら懇談会を続けます。

# 愛宕花相撲保存会

## 団体 紹介



片岡宏子 さん

### ～基本情報～

- ◆会長：片岡宏子 さん  
一関市千厩町千厩字町 82-1  
TEL & FAX : 0191-52-2280
- ◆問合せ（担当／永澤由利さん）  
TEL : 0191-52-2054  
FAX : 0191-52-2154

## 2つの相撲で地域に元気を！活気溢れる掛け声に乗せて

### 愛宕神社と花相撲の歴史

毎年10月に、千厩の愛宕神社神楽殿で開催される「愛宕花相撲」と「みちのくせんまや赤ちゃん相撲大会」は、艶やかな姿をした女性たちの堂々たる土俵入りと、元気な赤ちゃんの泣き声で、地域に活気を与えてきました。この2つの行事には、毎年千厩地域を中心に日本各地から多くの参加者や見物客が集まりますが、この行事が今の形になる間には、大正時代からの長い歴史があります。

愛宕花相撲は、大正初期に行った初牛や祭りの出し物が始まりで、当時は大変な人気を博しておりましたが、昭和28年以後、戦争等により地域から姿を消してしまいました。その後、千厩町の守り神とされる愛宕神社がある山を切り開くという話が地域で出され、部落を上げた議論の末に、愛宕様を下すことに決定。昭和55年、神社を移す遷座式と一緒に、「大きな記念行事だから、昔から伝わる『女相撲』を行おう！」と、片岡さんが会長を務める婦人部が中心となり、愛宕花相撲を復活させました。

### 「笑ったら勝ち」の笑顔勝負

また、愛宕花相撲と同日に行われる赤ちゃん相撲は、少子化に伴い「子どもの健やかな成長と、一人でも多くの子宝に恵まれるように」と願いを込め、平成11年から開催。「どっこい、どっこい、どっこいな」という行司の掛け声に合わせて赤ちゃん同士を見合わせ、その表情により勝敗を決めます。

毎年千厩町を中心に、全国から250名以上の参加申込みがある人気行事ですが、これだけ人寄せができているのは、事務局の日々積み重ねる努力の成果だと片岡さんは語ります。その理由は、事務局が新聞記事の慶弔欄に載る赤ちゃんの名前と連絡先を毎日チェックし、参加対象となる6カ月～1歳半の赤ちゃん宛に、毎年700通もの案内文書を発送するからです。「10年間、赤ちゃん相撲を無事行えたのは地域のみなさんの協力があってからこそですが、それを支えているのは事務局です」と片岡さん。毎年、見物席を埋めつくすほどの人が集まる集客の背景には、事務局の地道な努力があったのです。

### 地域でつくりあげる行事

愛宕花相撲と赤ちゃん相撲の当日スタッフは、全て女性が担当しているため「女性だけの行事」と思われることもあるかもしれませんが、行事前の朝6時から8時までの間は、地域の方々が性別関係なく集まり、会場設営等の準備を手伝ってくれます。行事が始まるからは、保存会以外の地域の女性も仕事を受け持ってくれる等、団体を超えて地域が一丸となり協力してくれることに嬉しさを感じると片岡さん。

「私が行事を通じて喜びを感じる時は、参加した方から『参加して良かった』『感謝しています』という言葉や手紙を受け取った時。今まで続けてきて良かったと思います。今後は若い方にも積極的に参加いただき頑張ってもらいたい」と抱負をお話ししてくれました。



愛宕神社の神楽殿

## 一関市川崎町 所萱自治会

地域  
紹介

小野寺 寛 さん

## ～基本情報～

◆会長：小野寺 寛 さん

(平成 21 年度～平成 25 年度)

◆川崎町門崎の所萱自治会は、41 世帯 135 人が暮らす山間部の集落です。定例会に多く集ってもらえる工夫をするなど、協力し合いながら地域づくりに努めています。

## 集まりやすい定例会で情報の共有

## 人が集まると若い人も集まる

所萱地区は、川崎町の北部に位置し、北は東山町松川地区、東は千厩町磐清水地区と隣り合っています。全体的に山間地で、小高い山の中に民家が点在している、自然豊かな地域です。

「このあたりは耕地が少ないため、かつては、葉たばこ栽培や養蚕、冬期間は炭焼きをする家が多かったです」と小野寺さん。そんな地域だからこそ、集落内で助け合って生活することが当たり前でした。「地域の少子高齢化は進み、自慢できる地域活動は何もありません」と謙遜する小野寺さんですが、最近地域が元気になる出来事がありました。それは、炭作りを復活させたことです。

地域の有志が「山かんざき桃源会」(代表小野寺忠浩さん)を組織し、炭を通じて地域活性化に取り組みました。昨年11月に炭小屋を完成させ、その後に炭作りを開始。炭作りは支障木の再利用、出来た炭は各世帯へ備蓄用に配布。「得意分野の技術を提供してもらいました。人が集まると若い人も集まるので、久々に地区内が賑わいます」と嬉しそうに小野寺さんは語ります。

## 青年部は地域の元気の源

自治会は、総務部、産業部など8つの専門部で構成。高齢者の多い地域ですが、10名ほどの青年部も組織されており、これまで自由に使える年予算6万円を渡していました。「これが思わぬ成果を上げてきたんです」と小野寺さん。部員たちは、会員同士の親睦だけで終わってしまうのもったいないと思うようになったのか、カーブミラーの清掃や大型資源回収への協力、公民館周辺の草刈りをはじめ、さらには、一人暮らしをしている高齢者宅の草刈りにまで活動の幅を広げていきました。「これらの活動を通じて、地域内で一人暮らしをしている高齢者の存在を知るきっかけができました」と部員たちは話しており、今では地域内に無くてはならない存在となりました。

## 集まり方を工夫した定例会

自治会の話し合いは、これまでも定期的に行われてきましたが、その中でも人の集まりが少ないことが悩みの種でした。集まりやすくするためにはどうするかを考えた結果、7年前から毎月30日(2月は末日)に定例会を設定し、併せて次のような工夫をしました。

一つ目は、会費納入(一世帯月1000円)の場としたことです。以前は、7つの班ごとに班長が会費を集め回っていましたが、定例会の日

を納入日に設定することで、班長の負担を軽減しました。

二つ目は、準備を簡素にしたことです。会場として使用する所萱公民館では、座布団を敷かない、お茶を出さないことにしたことで、準備や片付け時間を削減しました。

三つ目は、会議時間を30分に短縮したことです。会を担当する総務部が各部長と連絡調整し、次第を作成して会に臨みます。意見交換と情報交換の場と位置づけ、円滑な会議運営を心掛けるようになりました。

「集まりは良くなりました。全世帯出席とまではいかない時もありますが、最低でも8割以上の出席があります」と小野寺さんは語ります。

世代を受け継いで営まれてきた地域のつながりを守ろうと努力されている小野寺さん。そのお話に感銘を受け、古くから地域内を見守ってきたであろう夏木立の中を帰途につきました。



地域を元気にした炭小屋

# 東山フエルト株式会社東山工場

## 企業 紹介



代表取締役 東山工場長  
藺田 重昭さん

### ～基本情報～

- ◆代表取締役 東山工場長 藺田 重昭さん
- ◆本社・工場  
〒029-0301 一関市東山町田河津字野土 88-1
- ◆TEL : 0191-47-2511 / FAX : 0191-47-2510

## 地域イベント参加で、ふれあう心と心を大切に

### 農村地帯と工業団地

日本百景に数えられる狛鼻溪を擁し、鉱物資源が豊富な一関市東山町は、自然資源・地域資源を活かした商業・工業が盛んです。

しかし、山間部の多い農村地帯は農閑期になると、世帯主が出稼ぎに行くことも多かった時代がありました。その中で「地元に安定した工場を」「女性に働ける環境を」と多くの意見が寄せられ、昭和49年頃から、農村地域へ工場を導入するための計画策定が進められました。

東山フエルト株式会社東山工場は、日本フエルト株式会社の100%子会社で、紙・パルプ・ストレート用、その他工業用フエルトを製造する企業で、同社の工場がある「野土工業団地」もその一つ。農業従事者がその希望や能力によって工場に就業できるよう、さらに、農業と工業が共に発展できるようにと同社は、昭和49年12月に工場誘致が確定され、昭和50年12月から操業開始しました。とくに労働安全衛生には長年努力を積み重ねており、今年10月2日にも岩手県産業安全衛生大会で事業所賞を受賞する予定となっているのです。

従業員約60名のほとんどが、東山

地域等から採用しており、「親子2代で同社に従事する方もいますよ」と地域に根ざす企業であることが伝わりました。

### 地域交流のきっかけづくり

地域住民の安定雇用と自然環境との融和を大切にしている同社は、東山町内で行われる様々なイベント行事への協賛などを通して、地域交流のきっかけづくりを行っています。

同社が毎年協賛している「唐梅館絵巻」は、天正18年、この地方を治めていた葛西氏の重臣千葉一族が豊臣秀吉からの小田原参陣要請に従うか否かを決定する運命をかけた軍議の様子を、壮大なスケールで再現したイベントです。第1回目の開催には、同社事務部の吉田次長が重臣として参加、今年の10月6日に開催される第13回唐梅館絵巻には、藺田工場長が騎馬武者として参加することです。イベントに関し社内でも活気が湧いている様子が伝わりました。

また、毎年開催されている田河津地区内の山神社奉納演芸会では、同社従業員が自治会単位で歌や踊りを披露しており、社を挙げての応援や参加で地域行事を盛り上げています。

### 温かみのある地域にこれからも

今年7月に東京から赴任したばかりの同社代表藺田工場長は、「赴任当初、梅雨が長く雨の多い地域なのか」と感じましたが、今ではとても過ごしやすく、自然がきれいで、とてもよい地域だと思います」と、語り東山地域の良さを日々感じているとのこと。「40年前にご縁あって、この東山の町に工場をつくることになりました。ここまで、続けられてきたことは、地元周辺住民の皆様と地元従業員の皆様ご理解があつたと思っております。経済情勢などの様々な時代の変化はありましたが、地域との絆を益々大切にし、新しい方向も視野に入れながら『田河津に東山フエルトがあつてよかったね』と語ってもらえるような企業であるために今後も地域の皆様と交流が保たて行ければと感じます」と、語っていました。



従業員の安らぎの場ともなっている工場内敷地

◆◆◆◆センタースタッフの体験レポートです◆◆◆◆

# 歩 が 行 く

◆一関市千厩町奥玉「NPO法人響生」を訪問してきました◆



① 昨年の idea でご紹介させていただいた「NPO法人響生」。夏の暑さにも負けない元気な子どもたちが、目を輝かせながら「えのぐ de アート」に取り組み、絵具の香り（臭覚）、手触り（感覚）、交わる色と色（視覚）をフルに使いながら思い思いに描きました。

② 「えのぐ de アート」開始前のホール。新聞紙の上には大きな紙が拡げられています。

③ 心くすぐる絵具と粘土。色を交ぜ合わせたり、粘土で形をつくってスタンプにしたり・・・

④ とっても集中しています。何を描いているのかな？きれいな色だね。

⑤ こちらは、手にぬりぬり・・・「見て♪見て♪」と、ご満悦な様子。

⑥ 同法人代表の杉山さんは、「ご縁があり、今回の『えのぐ de アート』が開催できました。子どもたちにとって良い経験となったのでは」と目を細めて語っていただきました。眩しいくらいの笑顔と笑い声に夏の暑さも吹き飛ば取材となりました。

【※1：チームいわてびと（人材育成に取り組むプロ集団）】

【※2：東日本支援クレヨンネット（被災した子供たちへアートを通じて心のケアを支援する団体）】

■ 五感をフルに使って楽しむアート

特別支援学校などに通う児童生徒のデイサービス事業などを展開しているNPO法人響生は、放課後の余暇活動として音楽やアートなどの五感を活用した活動や野菜の栽培を通じた食育を実施しています。夏真っ盛りの8月12日、「チームいわてびと※1」のメンバーで色彩心理士の川村久子先生、岩手のアイドル「ふじポン」のほか、「東日本支援クレヨンネット※2」のメンバーで、子どもアート療法士の嶋田佳子先生らが同法人を訪れ、子どもたちと一緒に自由に描く「えのぐ de アート」が開催されました。この活動は同法人代表の杉山さんがFM岩手『わん（こ）らじお』に出演したことがきっかけとなり実現。子どもたちは、ホールに敷かれた大きな紙に目を輝かせ「何を描こうか」とワクワクしている様子。川村先生やふじポンのあいさつのもと、子どもたちはいっせいに絵具へ向かい、真っ白な紙にむかい、筆を使ったり、粘土をスタンプのように使用したり、思い思いにアートを楽しみました。どの子も笑顔が素敵で、笑声の絶えないひと時となりました。

■ 心を育む時間の大切さ

子どもアート療法士の嶋田先生は、「服を汚しても、顔や手を汚してもOK。自由にアートを楽しむ時間（空間）は、リラククス効果が得られ、賢い心・丈夫な心を育たせます。」と語り、子どもたちの様子を温かく見守っていました。我が家を振り返り、いつも「あーしなさい！」「こーしなさい！」とついつい、口うるさく言ってしまう私。「発想の自由な時間の大切さ」を勉強させていただきました。

イ ベ ン ト

ボ ラ ン テ イ ア

情 報 コ ー ナ ー



### 10月の地域イベント情報

はんなり着物を着るもよし、自然に触れ合うのもよし、映画鑑賞もよし・・・秋はイベント盛りだくさん！！



### 親子クラス無料体験

子ども教室風と虹では、『出会いの日』と題し親子クラス無料体験を開催します。0歳から3歳の親子さんを中心にお茶やおやつを頂きながら子育ての話などをしてみませんか？（開催場所が民家のため、わからない時は電話ください）  
\*\*\*\*\*  
【日時】平成25年10月15日（火）  
午前10時～午前11時半  
【場所】一関市花泉町金沢東要害30  
【料金】無料体験  
【問合せ】かねだ あきこ  
【電話】080-1827-2514

### いきいきほのぼの映画会

毎日の生活に「潤い」と「感動」をお届けしたくて、大画面の映画会を企画しました。心が動くと体も元気になります。今回の映画タイトルは吉永小百合主演の『おとうと』です。みなさまのご来場お待ちしております。  
\*\*\*\*\*  
【日時】平成25年10月18日（金）  
午後2時から  
【場所】東山地域交流センター  
【料金】入場無料  
【問合せ】いきいきほのぼの映画会実行委員会  
【電話】東山公民館 47-2243（他東山地域各公民館）

### 千厩きもの物語

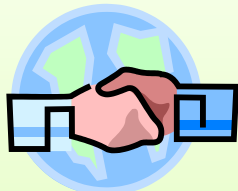
なかなか着る機会のない着物。タンスに眠ったままの着物、思い出の着物、七五三の着物など、虫干し感覚で着物を着て町を散策してみませんか？当日はフォトコンテストや着物掘り出し市の他、箏の演奏などもあります。  
\*\*\*\*\*  
【日時】平成25年10月19日（土）  
【受付時間】午前9時半～午前10時  
【受付場所】酒のくら交流施設  
【料金】500円（抹茶・コーヒー券付）  
【問合せ】千厩着物虫干し会代表  
【電話】0191-52-2043（伊藤京子）

### 秋のブナの森

NPO法人里山自然学校はずみの里では、いちのせき健康の森周辺にて『自然観察会』を行います。観察会後は健康の森にて入浴ができます。各自飲み物、お弁当、雨具、敷物をご準備ください。集合場所等は下記の通りです。  
\*\*\*\*\*  
【日時】平成25年10月20日（日）  
【集合場所・時間①】はずみの里・午前8時20分  
【集合場所・時間②】厳美道の駅・午前9時  
【料金】参加料900円（お弁当飲み物は持参です）  
【問合せ】NPO法人里山自然学校はずみの里  
【電話】0191-82-3857 : hazumi@wine.ocn.ne.jp

### ハロウィーンパーティー2013

10月25日（金）は仮装をして大集合しよう！！トリックオアトリートやマミーゲームなどお楽しみがいっぱい。事前申し込みが必要で先着20組。  
※1小学生は保護者同伴でお願いします。  
※2参加者は仮装をお願いします。  
\*\*\*\*\*  
【日時】平成25年10月25日（金）  
午後6時15分～午後8時  
【場所】山目公民館 創作室  
【料金】参加無料（申込締切10月22日）  
【問合せ】ハロウィーンパーティー実行委員会  
【電話】山目公民館 0191-21-2104



一関市管内で活動している地域団体のボランティア募集です。詳細等はお問い合わせ先にご確認ください。



### 一関市青少年少女発明クラブ

一関市青少年少女発明クラブでは、青少年少女に対する“ものづくり”の指導をしてくれる有償ボランティアを募集しています。  
\*\*\*\*\*  
【日時】毎月2回程度（土日）  
1回/2時間程度  
【場所】発明クラブ教室、一関公民館、真柴コミュニティセンター  
【報酬】2時間で1,000円ほど  
【問合せ】一関市青少年少女発明クラブ事務局 千葉 邦夫  
【電話】0191-26-4928

### お弁当屋さんのボランティア

NPO法人ワークハウス雲では、同法人が運営する「雲の弁当屋」の簡単な調理やお弁当の配達を手伝ってくれるボランティアを募集しています。下記までお気軽にお問い合わせください。  
\*\*\*\*\*  
【日時】毎週火曜日・金曜日  
午前10時～午後1時  
【場所】雲の弁当屋とその周辺  
【報酬】交通費（要相談）  
【問合せ】NPO法人ワークハウス雲 担当 渡邊 知子  
【電話】090-7073-4985

# いちのせき 市民活動センター

センターの連絡先はこちら



住所：一関市大町 4-29  
 なのはなプラザ4F  
 電話：0191-26-6400  
 FAX：0191-26-6415  
 営業時間：朝9時～夜6時  
 休館日：日・祝  
 スタッフ：6名

ホームページ：<http://www.center-i.org/>

# せんまやサテライト

サテライトの連絡先はこちら



住所：千厩町千厩字町 149  
 電話：0191-48-3735  
 FAX：0191-48-3736  
 営業時間：朝9時～夜6時  
 休館日：日・祝  
 スタッフ：3名



メール：[center-i@tempo.ocn.ne.jp](mailto:center-i@tempo.ocn.ne.jp)

## FMあすも

小野寺副センター長出演の、「子育て地域育てのコーナー」(毎週水曜日、11時半～)の一部を紹介します。

◆9月18日放送「かわまちサロンと見える化」  
 9月から始まった「かわまちサロン」では、磐井川周辺のまちづくりをどうしたいかについて話し合うワークショップを行っています。個々の意見を付箋に書き地図に貼り付けていくと、イメージが見て確認できます。コンセプトやビジョンは、言葉で説明するよりも、目で「見える化」させた方が伝わりやすいですね。



## 10月のまちのお知らせ

1		16	
2		17	
3		18	
4			
5	第30回ふじの実祭(藤沢) 磐井河原いものこ会(一関) ～10月20日までの毎週土日	19	千厩きもの物語(千厩) 第64回一関地方産業まつり商工祭、 全国ご当地もちサミット2013in一関、 いちのせき商業まつり「交遊市場、住宅祭(一関)～20日
6	藤沢町民総参加スポーツレクリエーション祭(藤沢) 第13回唐梅絵巻(東山)	20	芸文教摺沢支部芸能チャリティーショー(大東) ご当地グルメin大東(大東)
7		21	
8		22	
9		23	
10		24	
11		25	室根神社特別大祭(室根)～27日
12	館ヶ森収穫祭～13日(藤沢) 第25回「匠の祭典」～13日(千厩) 第241回せんまや夜市(千厩)	26	砂鉄川堤防ウォーキング(川崎) 第64回一関地方産業まつり農業祭・ いわて産まつり(一関)～27日
13	一関・平泉VRフェスティバル2013(一関)	27	市民交流スポーツ大会(川崎)
14	大東ママさん・パパさんバレーボール大会(大東) 一関地方育樹祭(川崎)	28	
		29	
15	川崎こぎね 商工まつり(川崎)	30	
		31	

## お知らせ

### ◆せんまやサテライト情報コーナー模様替え

せんまやサテライトでは、より充実した内容をみなさまへお届けするため、情報コーナーの模様替えを致しました。現在一関市が推進している【協働】についてのコーナーも新設し、各地域担当が発信している地域情報コーナーも充実です!!ぜひ、お近くにお越しの際は、せんまやサテライトへお立ち寄りください



### 今月の表紙

今月の表紙は、一関の世嬉の一内で撮影した写真です。大きく口を開けたかわいいカエルさんが、麦茶を差し出してくれました。



### 編集後記

鈴虫の鳴声を耳にしました。秋ですね。少し涼しく感じる今日この頃・・・いかがお過ごしでしょうか?秋と言えばやはり読書の秋でしょうか?私は・・・やはり食欲の秋ですかね～。秋はビールに合う美味しい食べ物いっぱいです。



Q1 いちのせき市民活動センターから派遣されるファシリテーターとはなんですか?

A1 中立的な立場で、参加者から意見を引き出し話し合いを活性化させる人。会議の議題や決定事項には入り込まず、合意形成にいたる過程をリードする人のことです。

あなたの「知りたい」に、担当スタッフが答えます。